



2024年3月6日

各位

会社名 クリングファーマ株式会社
住所 大阪府茨木市彩都あさぎ七丁目7番15号
彩都バイオインキュベータ207
代表者名 代表取締役社長 安達喜一
(コード番号:4884 東証グロース)
問い合わせ先 取締役経営管理部長 村上浩一
TEL.072-641-8739

第23回 日本再生医療学会総会での講演に関するお知らせ

2024年3月21日から3月23日まで新潟県新潟市で開催されます第23回 日本再生医療学会総会 (<https://www.congre.co.jp/jsrm2024/index.html>) におきまして、以下の通り、脊髄損傷に対する「組換えヒト HGF タンパク質」の開発に関する演目が講演発表されます。

演題：肝細胞増殖因子が切り開く未来－脊髄損傷の再生を目指して

Regenerative medicine for spinal cord injury using hepatocyte growth factor

演者：名越 慈人¹、北村 和也²、岡野 栄之³、中村 雅也¹ (¹慶應義塾大学整形外科、²防衛医科大学校整形外科、³慶應義塾大学生理学)

発表日時：2024年3月21日(木) 8:30～10:30、シンポジウム4 運動器の再生医療の現状と展望

演題：HGFによるプレコンディショニング治療は、脊髄損傷後のiPS細胞由来神経幹細胞移植による機能回復を促進する

演者：末松 悠^{1,2}、名越 慈人¹、西條 裕介^{1,2}、岡野 栄之²、中村 雅也¹ (¹慶應義塾大学整形外科、²慶應義塾大学生理学)

発表日時：2024年3月23日(土) 10:00～11:00、口演27 脳神経③

当社と慶應義塾大学医学部は、長年にわたる共同研究のもと、脊髄損傷に対する組換えヒト HGF タンパク質の臨床応用研究を推進してきました。すでに脊髄損傷急性期患者を対象とする第I/II相臨床試験及び第III相試験を終了し、現在、当社は医薬品製造販売承認申請に向けて準備を進めております。

また、重度の脊髄損傷モデルラットに対して、急性期にHGFを投与し、亜急性期にiPS由来神経幹/前駆細胞を移植する治療法の研究 (Suematsu et al. *Inflammation and Regeneration*. 2023. 43:50)、及び慢性期完全損傷モデルラットに対して、HGFとスキャフォールド及びiPS由来神経幹/前駆細胞移植を併用した治療法の研究 (Hashimoto et al. *Biomaterials*. 2023. 295) を実施し、これらの研究成果に基づいて2件の特許出願を共同で行っております (2023年3月13日付け及び2023年9月8日付け当社プレスリリース参照)。

当社は、引き続き、難治性疾患の患者さんとそのご家族に、画期的な医薬品を一日も早くお届けできるよう努めてまいります。

以上

HGF (Hepatocyte Growth Factor, 肝細胞増殖因子) について

HGF は、成熟肝細胞の増殖を促進する因子として発見された生理活性タンパク質であり、その後の研究から細胞増殖のみならず、細胞運動促進、抗細胞死、形態形成誘導、血管新生など様々な組織・臓器の再生と保護を担う多才な生理活性を有することが明らかにされました。

HGF は神経保護作用や軸索伸展作用も有し、神経難病とされる脊髄損傷に対する薬理効果は、慶應義塾大学医学部生理学教室 岡野栄之教授及び整形外科学教室 中村雅也教授らのグループの研究により明らかにされています。新たな脊髄損傷治療薬として、HGF への期待が高まっています。

他方、京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 平野滋教授らのグループは、HGF の抗線維化作用に着目し、線維化疾患である声帯癬痕に対する薬理効果を明らかにしました。HGF には、声帯癬痕を端緒として、他の線維化疾患への適応拡大の可能性が期待されています。

クリングルファーマ株式会社について <https://www.kringle-pharma.com/>

当社は「難治性疾患治療薬の研究開発を行い、難病に苦しむ患者さんに対して画期的な治療手段を提供し、社会に貢献すること」を企業理念とし、希少疾患を対象に HGF タンパク質医薬品の自社開発を推進するバイオベンチャー企業です。

現在、HGF タンパク質医薬品のレイトステージの開発パイプラインでは、脊髄損傷急性期を対象とする開発が第Ⅲ相臨床試験を終了し、声帯癬痕を対象とする開発は第Ⅲ相臨床試験を実施中です。

当社は、HGF タンパク質医薬品の社会実装を通じて新たな価値を創造し、人々の健康と幸せに貢献してまいります。